

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	香椎高等学校校舎棟	階数	地上5F
建設地	福岡県福岡市東区香椎2丁目788-1番地7筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用、第一種住居専用地区	平均居住人員	1,100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,640 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年7月11日
敷地面積	40,416 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 建築企画コム・フォレスト
建築面積	2,389 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月11日
延床面積	9,443 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 建築企画コム・フォレスト



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地は閑静な住宅街に位置するため、楽器や大声の発生する室は、グラウンド側に配置し、周辺住民に配慮した平面計画とする。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	化学物質の濃度測定を行いF☆☆☆☆認定品を採用することで、空気環境の向上に努める。 開口部を広く取り昼光利用できるようにするとともに、複層ガラスを採用し熱負荷の低減も考慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 段差部分にはスロープを設けるなど福祉のまちづくり条例など遵守する。
<b>LR1 エネルギー</b>	照明はLED照明とし、トイレの照明には人感センサーを採用するなど、省エネルギー設備機器を採用し環境への配慮を行う。 複層ガラスを採用し、冷暖房負荷の低減に努める。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 既存の植栽はそのまま継承し、周辺の街並みに配慮する。 建物周囲は空地を設け、採光・通風を確保する。
	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建築素材にリサイクル材料の使用や節水に配慮した器具を採用する。 トイレ等の洗浄水を雨水利用率50%以上とする。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周囲との景観の調和や街並みへ配慮し、敷地周囲にある既存の植栽を残す。 適切な駐車・駐輪台数を確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される